

よりよいこれからの生き方をお考えの方に

ゆかり通信

Vol.111

秋麗号

2021年10月15日

この冊子はエデンの園ゆかり会
会員の方に年4回お届けしています。

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部 **エデンの園** 「ゆかり会」情報誌

特集

浦安エデンの園

人

interview

ケアサービス課 介護居室係 係長

逢坂 宜広

食

エデンの食卓

通常食と介護食

住

エデンの暮らし

介護居室ご入居者の1日
周辺おさんぽマップ

浦安エデンの園

社会福祉法人聖隷福祉事業団





係長として職員の教育や管理も行う逢坂さん。そこで一番大切にしているのが、想像力だ。「介護の現場では、ご入居者の人生を知り、求めるものを想像することが大事です。指示すれば、それが絶対となり、職員が考えなくなってしまうから」と、手本を見せながら多くを語らず、職員の自主性、考える力を養うよう心掛けています。そんな逢坂さんも、最初の頃は話をするのが精一杯だったが、経験を積むことでご入居者の気持ちに寄り添えるようになったそうだ。「聖隷福祉事業団は施設異動や部署異動があり、色々な仕事の経験が自分自身を成長させてくれたと感じます」と逢坂さん。新たな自分を発見でき、仕事の幅や視野が広がるからだ。「ここは特別

浦安エデンの園では、新型コロナウイルス予防対策によりご入居者がご家族と面会できない状況が続いている。特に介護居室のご入居者は外出も難しい場合が多いが、園周辺は自然も豊かで、公園など楽しめる環境もある。逢坂さんは「外の世界と触

**コロナ禍が続く中でも
家族や自然との触れ合いを**

天地でも、自身のさらなる成長を誓う。



養護老人ホームとは全く違う世界。とても新鮮で刺激になり、初心に帰れます。多くの職員が交流することで、施設全体の質が向上すると思います」。特別養護老人ホームでの自分の経験が浦安エデンの園のレベルアップにつながり、新

interview
エデンで働く人

**相手をよく知り想像する
会話から生まれる安心ケア**

「自分にも、いつかは介護が必要になるときがある」は誰もが考えること。介護付有料老人ホーム「浦安エデンの園」は自立の状態でご入居し、介護が継続的に必要になった場合は、一般居室から介護居室に住み替えて適切な介護サービスを受けることができる。住み替え後のご入居者の様子や、どのように接しているのか、担当の逢坂さんに話を聞いた。

浦安エデンの園 ケアサービス課
介護居室係 係長

おうさか たかひろ
逢坂 宜広 (44歳)

青森県青森市出身。大学で社会福祉を学んだ後、社会福祉法人聖隷福祉事業団に入職。浦安市特別養護老人ホームに配属後、20年に渡り、入所、デイサービス、ショートステイ、相談係など、様々な部門を経験。2020年4月より浦安エデンの園へ。趣味はフットサル。一児の父。
■資格:介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉主事任用資格



**ご入居者を知る時間が長いから
その方に合ったケアができる**

逢坂さんが「浦安エデンの園」に異動して来たのは2020年4月。聖隷福祉事業団の「浦安市特別養護老人ホーム」に20年勤務し、介護の基本的な技術だけでなく、様々な部署で多くを学んできた。特に、話し方や会話術の習得を一番に上げ、「ご入居者に合ったケアをするために、まずはその人のことをよく知ること。ご入居者やご家族の思いを探る上で、会話はとても重要ですよ」と逢坂さん。常に笑顔で接し、「私がドリフ世代なので、顔芸やドリフネタも会話に交えます」と、ご入居者との距離を縮め、話を引き出す。特別養護老人ホームは入所時に自分の思いを口にすることが難しいことも多いが、エデンの園では介護が必要になる前からご入居者と多くの関わりが持てるのが大きな違い。要介護になる前のゴミ出しや片付けなどの支援からご入居者の過ごし方を知り、一般居室係や生活サービス係の職員と連携しながら色々な情報を得た上でケアできるのが大きなメリットだという。勤務してわずか1年半だが、すでにご入居者から多大な信頼を得ている。

**介護スタッフに求めるのは
自ら考え想像する力**

主な仕事は、入居後に体の具合が悪くなったり、認知症が進んだ方の身の回りのお手伝いだが、れる機会が減ってしまっているのが一番心苦しいです。それでも浦安エデンの園には、桜や紅葉など四季折々の景色を楽しめる中庭があり、園内で面会できないご家族が、中庭から窓越しに



介護居室 1日の流れ

6:00頃 起床・身支度

声かけをし、起床後職員がおしぼりで顔を拭かせていただきます。その後は寝間着から普段着への着替えをお手伝いしています。

7:30頃 朝食・服薬・口腔ケア

体調にもよりますが、基本的にはダイニングで朝食をとります。気管や喉につまらせないよう、気を配りながらお食事の介助をしています。食後にお菓子の介助や口腔内の清潔を保つため口腔ケアを行います。



10:00頃 水分補給

ご本人のお好みに合わせてコーヒー、紅茶、緑茶などを提供しています。新聞を読みながらコーヒーを楽しんでいる方もいらっしゃいます。また、昼食前に気管や喉につまらせないよう口腔体操を行っています。

11:30頃 昼食

お食事はケアサービス課と管理栄養士が医師の指示を基に、その方に合わせたお食事の形態を考え、提供しています。

13:00頃 休息

ご様子や体調をみて、または直接「どのように過ごしたいか」を伺っています。例えば、午前中の中入浴で疲れた方は自分のお部屋で休まれたり、他の方と一緒にパソコンでYouTube動画を楽しまれたり、テレビ番組を観られたりと様々です。また、窓越しやテレビ電話でご家族と面会もされています。

15:00頃 おやつ

食事サービス課の手作りおやつや、ネットスーパーで注文されたお好みのお菓子などを、ご希望の飲み物と一緒にお出ししています。



17:30頃 夕食

20:00頃 就寝

歯磨き・義歯の洗浄を行い、普段着から寝間着に着替えるお手伝いをし就寝の準備をします。

※夜間帯は21時から翌朝5時まで、2時間おきに見回り、安否確認を行っています。



入浴(週3回)

ご本人のペースに合わせてお風呂にお誘いしています。介護浴室には横になったまま入れるお風呂や、イスに座ったまま入れるお風呂があります。

食 エデンの食卓 Eden's table

夕食メニュー

- メイン/サーモンフライorビーフシチュー
- きのこサラダ
- ごはん
- フルーツ
- 長芋とオクラの梅和え
- オニオンスープ



管理栄養士・調理師に聞きました

●浦安エデンの園の食事、メニューのセールスポイント、特長は?

- ・市場から仕入れた新鮮な魚介類を使用しています。
- ・園内の厨房で手作りしています。

●今回紹介するメニューのこだわりは?

- ・ビーフシチューはご入居者からのリクエストメニューで彩りよく盛り付けています。
- ・サーモンフライは既製品ではなく生のサーモンを使用した手作りです。揚げたてをふるまうために直前に揚げて提供しています。

●介護食を調理する上で、気を付けていることは?

ご入居者の食形態に合わせて、食材が偏らないようにバランスを考え、目からも美味しさを感じていただけるように盛り付けています。自立のご入居者と同じメニューを調理方法の工夫で、安心安全に提供しています。

スペシャル対談 「逢坂さんのココが凄い！」

浦安エデンの園/園長 安達美由紀 × ケアサービス課 課長 武蔵郁子



逢坂さんが浦安エデンの園に異動して1年半。その仕事ぶりを近くで見えてきた2人が、逢坂さんの「凄い」ポイントを語り合った。

安達「浦安エデンの園に来る前から、とても優しく介護する方とは聞いていましたが、想像以上でした。逢坂さんは本当にご入居者のことをよく見ている方です。例えば、ご入居者が転んだときも、ご家族のことを心配してあまり眠れていなかったなど、深い部分まで知っています。そうした細かい部分を把握した上で話をするから、ご入居者も安心して頼れますよね」

武蔵「その通りだと思います。それに加えて凄いなと思うのは、瞬時にその人に合わせた声や仕草を選ぶところ。逢坂さんは、ご入居者に合わせて色々な人になれるんです。言葉遣いが丁寧なのに、相手との距離を縮める。いい意味で緊張させないから、つい話してしまふ。私もよく相談に乗ってもらい、ケアしていただいている一人です(笑)」

安達「プロフェッショナルですよ。通常、ご入居者と信頼関係を築くにはある程度時間が掛かるのに、逢坂さんは短期間で構築する力があります。お茶の温度の好みまで知っていて、ご入居者にとっては家族に近い存在だと思います」

武蔵「本当に頼りになります。係長としてスタッフの教育にも尽力してくれていますし、他のスタッフでは対応が難しい場合も、逢坂さんが行けば大丈夫なこともよくあります」

安達「ご入居者への伝え方が凄く上手ですよ。例えばトイレに二人で行っていた方が、支援が必要になった場合、その方の気持ちとしては一人で行きたいんですよ。人には自尊心があって、それが元気の素でもあります。逢坂さんは、ご入居者の人としての尊厳を大事にしなから、私たちを頼って欲しいと伝えることができる。『君が言うなら』と、すんなり支援を受け入れてくれると聞いています」

安達「今後にますます期待ですね。私たちも逢坂さんに負けないように頑張りますよ！」

ご入居者と面会されています」と、介護居室に面した中庭の存在の大きさを強調。最近では、ご家族がスケッチブックで手作りのフリップを使ってご入居者と対話する微笑ましい光景も目にしました。「今後も更に楽しい空間、環境づくりに努めていきたい」と現状に満足することはない。

物腰の柔らかい話し方で、人を包み込むような安心感がある逢坂さん。「実はせっかちで、なるべく表に出さないように、ゆっくり話しています」と聞いて驚いた。その会話術はもちろん、何よりもご入居者に寄り添う姿勢と熱意に、プロ意識を感じた。ご入居者をよく知り、求めるものを想像し、よりきめ細やかなケアに挑戦し続ける。「ここを選んで、ここに住めて良かった」と言ってもらえるように。



ラトリエドゥ
ノ



- 店内厨房で毎日作られる、焼き立て・作りたての焼き菓子とケーキを楽しめるお菓子屋です。
- 併設されたカフェではお好みのお菓子を、こだわりのドリンクと一緒に楽しむこともできます。
- 正直に丁寧に、確かな技術で作られたノノのお菓子は、口に含んだ瞬間わっ!と心が華やぐような感動の後、ほっこりとした優しい甘さに包まれます。



ココがポイント

スタッフの皆さんもあたたかくて、お勧めを伺えば丁寧に説明をしてくれます。ケーキ屋は浦安にもたくさんありますが、焼き菓子が豊富なお菓子屋は浦安でも珍しいです!



ケアサービス課
中澤

ニューコースト
新浦安



- 1階にはスーパーマーケット(ヤオコー)、ドラッグストアも入っています。また、おしゃれな雑貨屋もあります。
- 2・3階は、ニトリや靴屋、100円ショップ、書店が入っていて生活に便利。生活雑貨はこちらで全部揃ってしまいそう!



ケアサービス課
白井

ココがポイント

フードホール・レストラン街もあります。

シンボル
ロード



- 緑豊かなシンボルロードはお散歩にピッタリ。夏は木陰ができて涼しいです。
- 「みどり・あかり・みず・れきし」をデザインテーマに四季の変化を感じられる街路樹が植えられて、四季の変化も楽しめます。

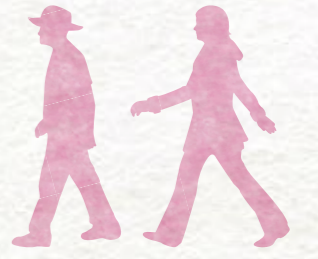


運営管理課
徳田

ココがポイント

歩行者ゾーンと自転車ゾーンがわかれているので安心。道幅も広く、車椅子での移動にも◎。

JR京葉線「新浦安駅」から約1.1km
煌く陽光、心地よい潮風、
アーバンライフを叶える住まい



浦安エデンの園 周辺おさんぽ
マップ

東京ベイエリアの中核都市に位置する「浦安エデンの園」。
徒歩圏内にショッピング施設や医療施設、緑豊かな公園が点在し、
自然環境や人の温もりを感じられる住宅地にありながら都市型機能を満喫できます。

